

## 第2回 大田市特別職報酬等審議会 議事録

開催日時	令和4年11月15日（火）14時から15時33分
開催場所	大田市役所 2階第1会議室
会議の出席	<p>◆委員 安藤彰浩委員/泉原美知栄委員/小川良知委員/生越朱美委員 川上隆委員/齊藤寛委員/森田由香委員/森脇岸江委員 ※欠席者2名（金崎えりな委員/豊田知世委員）</p> <p>◆大田市 大谷総務部長/藤原人事課長/大久保議会事務局次長 岩谷人事課課長補佐/荊尾人事課係長/北村議会事務局係長</p>
次第	<p>1. 開会</p> <p>2. 会長あいさつ（要旨） 前回、市長から諮問をいただいたが、この審議会は市長をはじめとする特別職の給料・報酬を審議する非常に大事な会議である。今日始めて出席の委員もおられるので、前回のおさらいも含めながら審議を進めたいと考える。 また、スケジュールの都合もあるので、できれば本審議会では議論の方向性を出していきたいと考える。短い時間ではあるが活発な審議をお願いしたい。</p> <p>3. 審議</p> <p>【前回の審議会＆今回提出資料の説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆第1回大田市特別職報酬等審議会 議事録</li> <li>◆資料No.7 【基金の状況】</li> <li>◆資料No.8 【市長等給料 類似団体比較表】</li> <li>◆資料No.9 【国家公務員・大田市職員の給料等の変遷】</li> <li>◆資料No.10 【特別職報酬等の推移】</li> <li>◆資料No.11 【平成18年大田市特別職報酬等審議会答申】</li> </ul> <p>以上、事務局より説明。</p> <p>【審議内容】</p> <p>【会長】 ただいま事務局から説明を賜りました。まずは、率直な意見であったり、事務局への質問でも構いません。皆さま方お一人ずつからご意見等を伺いたいのでお願いします。</p> <p>【委員】 このたび諮問をした背景を知りたい。前回の開催から長年してないからなのか。それとも、県内の他市の状況からなのか。他市の状況を見ても長年していないようなところもあるが状況を教えていただきたい。</p> <p>【事務局】 平成18年から開催していない。社会情勢が違う中で現在の額がどうなのかを審議していただきたい。他市では、近年開催しているところが、江津市と益田市である。江津市は、令和4年度に審議会にて議員のみを審議している。令和3年には、益田市が審議会に据え</p>

	<p>置きとしている。</p> <p>〔委員〕 平成18年のこの金額で令和4年まで続いているということですか。</p> <p>〔事務局〕 はい、そうです。</p> <p>〔委員〕 資料No.10を見て、平成17年の市町村合併があったときまでは、平成3年、5年、8年までは特別職の皆さんも右肩上がりであがっている。</p> <p>市議会議員で言うと大田市議会出身者が34万5千円。仁摩町出身の議員は20万2千円、温泉津町出身の議員は18万円でした。それを見直しして、現在の金額になっている。</p> <p>前回の意見にも、無投票や若い立候補者がいない状況ではあるがどうするべきかということもあった。無投票でも1日だけでも選挙があり立候補で歩かれる。また議員は4年に1度の市民の厳しい審判を仰ぐことになっている。</p> <p>それなのに給料を見て、職員平均値よりも低い。見直さないと、若い市議会議員を目指す人が出てこない。40代50代の家族がいる構成を考えると、子どもの教育費がかかることもある。生活を考えるとこの金額であれば魅力はなく立候補がないと思う。</p> <p>市長は、金額は高いが市長から決めていけないといけない。合併までは右肩上がりだったのに、合併後はダウンしている。</p> <p>私、個人的に資料No.10を参考にしながら金額を考えてきた。私は、思いきった見直しをしないといけないと思う。</p> <p>若い人が市議会議員を目指されて経験されてから県議会議員や国会議員を目指してもらいたい。そのためにも若い人が頑張ろうと夢を持てるような報酬を考えないといけないと思う。</p> <p>〔会長〕 先ほど、金額を考えているとおっしゃられたが、具体的に教えていただきたい。</p> <p>〔委員〕 市長は現在の78万円を86万円、前回比110%で8万円をあげる。この市長を100として、他の皆さんを考えると</p> <p>副市長は66万円を71万円、107%で対市長比率が83.5%。</p> <p>教育長は55万円を58万か59万円で迷っているが105%から105.5%ぐらい、対市長比率が67%ぐらいになる。</p> <p>議長が39万円を44万か45万円、113%か115%ぐらいとなり、対市長比率が51か52%ぐらいになる。</p> <p>副議長が33万円を37、38万円ぐらいで112%から115%程度、43%から44%ぐらいになる。</p> <p>議員が31万円を35から36万円ぐらいで113%から116%程度で、市長対比が41から42%となる。</p> <p>このくらいでないと、期待しているので、頑張ってくださいと言えないのではないかと。</p> <p>〔委員〕 若干、議員の報酬は安いと思う。資料No.5の⑰交際費</p>
--	--

	<p>率負担という言葉調べたが、20%になったら財政破綻と書いてあった。大田市の懐具合がわからない中で、上げてもいいのかなと思う。</p> <p>〔委員〕 私は、市長・副市長・教育長は据え置きをし、議員は見直す。 市議会議員なってもらいたい人が立候補してもらえないというのが年収のところにあると思っている。定数を削減したが、前回は無投票、今回は選挙があったが、立候補してもらいたい人が立候補できていない。引っ張っていただきたい方に見合う年収は、必要だと思う。</p> <p>財政事情はきびしいと思うが、市政運営をするためには必要不可欠なことだと思う。</p> <p>私は、金額を上げるとすると、副議長と議員のところは最低でも上げるべきだと思う。市長、副市長、教育長、議長は据え置き。</p> <p>〔委員〕 具体的な報酬の金額は、なかなか想像ができないので皆さんの意見を伺いながら考えたいと思う。 若い世代からいうと、市長は新聞等で今日の一日の動きがわかるが、議員は広報等で行動しているのがわかるが、もっと情報発信をしてもらいたい。デジタル化が主流になっている中で、SNSなどを使って情報発信している議員もおられる。もっともっと情報発信をして、若い世代に伝われば、それに見合った報酬になると思っている。 若い世代から魅力がある職に議員が出てくるようになれば、大田市がもっとすてきな市になると思う。 先日、若者たちで話す場があったが、若い世代の意見が市政になかなか通らないという意見もあった。若い世代の意見を言うためにも若い議員が出ると良い。 そこには、給与が必要というのも皆さんの意見を聞きながら感じた。</p> <p>〔委員〕 定数も下がってはいるが、削減も考えながら、財政状況に見合った金額が良いと思う。 平成18年が審議会を経て減ったというのはわかった。 市長、教育長も土日関係なく働いておられる。頑張っておられるので、上げて良いとは思いますが、仲間内で話を聞いてみると財政状況が厳しい状況なのに、あげるべきなのかという意見もある。 市のために働いておられるのに、そういう思いに返すには金額をあげることも思う。</p> <p>〔委員〕 それと、市議会議員の方は地域の議員ということは、忘れていただいて、大田市全体のために働く人を増やさないといけない。そして、モチベーションをあげるためにも、給料をあげてあげたい。</p> <p>〔委員〕 議員の個々の考えなのかもしれないが、地域で交際費が非常に膨らんでいる。そういった面からも議員のなり手がいないとも感じている。 4年に1度の選挙であるが、選挙費用もいる。地域の奉仕者になっている。議員も必要経費等は大変だと思う。</p>
--	---

	<p>う。そこは考慮してあげるべきではないかと思う。</p> <p>【会長】 一通り皆さんの意見をお聞きしたと思うが、意見を聞かれて感じたことでも良いので、何かある方は遠慮なく発言してください。</p> <p>【委員】 今回の選挙前に、いろんな団体から意見を聞かれていて広報に出ていた。中には、もう少し議員を削減して給料をあげるといった意見もあった。定数も18名となったが、議員の報酬を引き上げるべきと思う。しかし、情報発信なども議員の誰もが同じようにしないとイケない。これは、議会でしっかり議論されるべきである。政務活動費も別にあるので、その金額を上げるという考えもあると思う。議会の中で議論してほしい。議員の報酬はあげてもいいが、条件をしっかりつけないとイケないと思う。そして、3役をあげることはとても慎重にしないとイケない。旗振り役がそれでいいのか。職員の給与はほとんどあがっていない。そう考えると据え置いてもいいのではないかと考えている。</p> <p>【委員】 平成18年から金額がそのままというのは、問題ではないかと思う。議員定数を減らしているのに、金額をアップしてもいいのではないかと思う。</p> <p>【委員】 公債費比率が20%を超えたらどうなるかと言っても地方自治体がなくなることはない。北海道の夕張市がそうであったように、そこで頑張っていけば、新しいアイデアが生まれ変わっていく。予算の中で、借金が多いから返済でお金が使えないというものではないと思う。何にお金を使うかを決めれば良いと思う。私は、3役も据え置きではなくて、15年も据え置かれて、合併までは右肩上がりだったのに下がって、市長も評価をしてあげないとイケない。モチベーションを上げるためにも必要と考える。市長の方針で、その街の方向性を決める。市民の意見を出して、集約してとは言われるが、私たちが選んだ市長の考えを導いてこそ大きく変わる。個人的に言えば、教育長。大田市の教育委員会は何をやっているのかと思う。決めていたことが右に行ったり左に行ったりと簡単に変わってしまう。これは、本当におかしいこと。だから、私は教育長の金額の上げ幅をその程度に考えている。</p> <p>【委員】 これからはきちんとされと思います。教育長は大鉦を振るわれると思う。</p> <p>【委員】 期待したい。</p> <p>【会長】 教育行政の審議の場ではないので、このくらいにさせていただいて他の意見がありますでしょうか。</p> <p>【委員】 質問があるが、資料No.10の平成18年の枠に削減措置となっているがどういうことか。</p> <p>【事務局】 その当時、市長の公約として削減をしていました。その期間は下記に記載しております期間のみ削減して</p>
--	--

	<p>おりました。</p> <p>【委員】 資料No.8の⑩将来負担比率が高いがどういうことなのか。将来払っていかないといけないお金がたくさんあるということなのか。</p> <p>【事務局】 委員言われたとおり、将来に向かって借金の率がどのくらいあるのかということ。</p> <p>結果として、国の基準内に治まっているが高い方ではある。</p> <p>【会長】 皆さんからそれぞれの意見を伺った。私も確認したいが、県議会議員の報酬はどのくらいなのかわかりますか。</p> <p>【事務局】 県議会の条例では、議長が94万円、副議長が82万円、議員が76万円である。</p> <p>【会長】 市長と同じような金額をもらっておられるということですね。参考までに聞きました。</p> <p>他にはないでしょうか。多数の委員さんから議員については、上げて良いという意見をであった。挙手をお願いします。</p> <p>-----挙手全員-----</p> <p>【会長】 議会については、上げるということにしまして、市長については、個々の意見が様々ありましたが集約については、どのようにしていきましょうか。</p> <p>【委員】 審議会で答申をして、議会で決定した場合は今後いつからどうなるのか。</p> <p>【事務局】 今回、答申の中で上げるとして、議会で上げるという判断ができれば、早ければ3月議会に条例を上程として、来年度4月からとなる。</p> <p>【会長】 市長の給与について、審議会で上げると答申をして、市長は今まで通りでよいという判断で答申より下げるとすることはできるのか。</p> <p>【事務局】 今回、答申を受けて、市長があげないと判断をし、据え置きの場合は条例改正をしなければこのままいくことになる。</p> <p>【会長】 今回の意見を踏まえてご意見はないでしょうか。</p> <p>【委員】 金額を提示するには根拠が必要だと思う。県下の他市を見比べながらで良いのではないか。そうなると松江、出雲ではなく、江津、雲南が目安でないかと思う。具体的に言えば35万円くらいと思う。</p> <p>しかし、政務活動費とセットで議論ではないか。</p> <p>【委員】 議長はあげなくていいと言ったのは、議員をあげたら、副議長と同じくらいになる。だから副議長はあげないといけなくなると思ったからである。</p> <p>議員は35万程度に上げるべきだと思う。議長は活動で忙しいと思うので上げるべきであるが、副議長はみなさんの納得できる数字が良いです。</p> <p>【会長】 議長は、他の議員に比べてもかなりハードであると思う。いろんな会議においても、市議会を代表しての会議にたくさん出かけられている。それに見合う報酬が良いと思う。根拠で言えば、他市の状況と比べるのも一つであると思う。</p>
--	---

	<p>〔委員〕 大田市の年間の予算が250億とある。これは、国の交付金が一番である。自主財源で言えば、大田市民の所得税や固定資産税が核となる。財政が早く、良い方向に変わっていくには、自主財源を増やすか、交付税を使わずに残すかということになる。しかし、交付税を使わずにいると市民も困る。財政を改善しようとしても、自主財源が伸びるわけではない。良くなるまでには時間がかかる。必要な執行はしてもらいながら、全国に負けない取り組みをしてもらいたい。</p> <p>きちんとした執行をしていただいて、市長が引っ張る体制を作っていないといけないと思う。厳しいのはわかるが、萎縮していてもだめだと思う。</p> <p>土地も評価額より低い不動産のやり取りをしている。市町村合併で大田市の所有している物件がたくさんある。それを解体するにしても解体等の経費がかかる。それよりも買ってもらう努力をすべきではないか。</p> <p>そういうことなどで、固定資産税が入る取り組みをしていかないといけない。</p> <p>財源の問題も考えていかないといけない。</p> <p>〔会長〕 収入の確保で慎重意見もあるけれど、収入の確保の仕方いろいろあるというご意見であった。</p> <p>本日の意見では、双方いろいろな意見があったが、議員は上げるということでよいか。3役については、あげると慎重論があった。どのように考えていきましょうか。</p> <p>〔委員〕 議員年額は、平均年収が市の職員平均額より低いと聞いたことがある。それはいかがなものかと思う。</p> <p>〔委員〕 年収はどのくらいになるのか。</p> <p>〔会長〕 個々によって違いますね。</p> <p>〔委員〕 4万あげれば、年収は70万程度アップすることになる。</p> <p>〔委員〕 個人的には、3役は据え置きをし、議長が39万から42万円の間。副議長は、37万円。議員は35万円をたたき台に議論してはどうでしょうか。</p> <p>〔会長〕 議員については、今までの意見の集約もあり、35万円で良いと思う。副議長も今までの意見の中で37万円があったのでこの金額としてよろしいか。</p> <p>-----異議なし-----</p> <p>〔会長〕 異議なしとして答申内容を決定します。差があるのは、議長の金額である。少し幅があるが、多数決で行くのも方法であるが、いかがか。納得いく形でどうでしょうか。</p> <p>〔委員〕 安来市や雲南市は、42万円程度である。</p> <p>〔委員〕 雲南市は平成20年から変わっていない。13年も変わっていないのに合わせるのはいかがなものか。</p> <p>〔委員〕 逆に益田市は令和4年にやっている。開催されていない市が今後審議会を開催されるかわからない。開催している市を参考に考えるのが適当ではないでしょうか。益田市は、議長も副議長も大田市より低い数字に</p>
--	--

	<p>なっている。</p> <p>〔会 長〕 議長は先ほど意見が出た、42 万円でご理解をいただけないでしょうか。よいでしょうか。</p> <p>-----異議なし-----</p> <p>〔会 長〕 異論なしといたします。3 役はいかがか。</p> <p>〔委 員〕 据え置きは大反対である。</p> <p>〔委 員〕 反対という意見であったが、市長の年収をみると、益田市と同じくらいである。年収で考えた方がよいのではないか。</p> <p>〔会 長〕 江津市は低い。</p> <p>〔委 員〕 なかなか厳しいのではないか。地域の皆さんに意見を聞いたときは、財政が厳しいときにはあげないという意見があった。そこが何とも言えない。</p> <p>あげたとしても少しだけだと思う。</p> <p>〔委 員〕 金額について不満はないが、年収を見たときはそれなりにもらっておられると思う。</p> <p>〔委 員〕 任期があり、その都度審議会が開催されていれば問題はなかったと思うが、据え置きはどうかと思う。</p> <p>〔委 員〕 3 役には退職金が出る。</p> <p>〔会 長〕 今回は据え置きにして、今後、年数を置かず開催し、市長の改選の 4 年ごとに開催するという付帯事項として、今回は据え置きとするのはどうか。</p> <p>〔委 員〕 十数年ぶりに開催されたのに、据え置くことで本当に良いのか。金額にこだわるつもりはないが、据え置きで上げないのはどうしても納得がいかない。</p> <p>市長が一番上で決まって、他がバランス良く決まっていくので、市長を決めるのが筋だと思っていた。</p> <p>〔委 員〕 一律に上げるというのはいかがか。</p> <p>〔会 長〕 多数決をするという方法もあるがいかがか。</p> <p>〔委 員〕 本日決めないといけないのか。</p> <p>〔会 長〕 事務局、どうですか。</p> <p>〔事務局〕 事務局としては、ある程度決めていただければ、次回の会議に答申書案を作成できれば良いと思っていたが、議論が必要ということであれば、こちらは大丈夫です。</p> <p>〔委 員〕 3 役には退職手当があると思うが、議員に退職手当はないのか。</p> <p>〔事務局〕 ないです。</p> <p>〔委 員〕 月額でみれば、どうかですが、退職金はたくさんあるなと思いました。</p> <p>〔委 員〕 任期ごとに退職金は支給される。</p> <p>〔委 員〕 一律にすべて 4 万円をあげるのダメなのか。</p> <p>〔委 員〕 上げるのであれば、市長のみで良いのではないか。</p> <p>〔委 員〕 今回は市長のみで良いのではないか。仕事の量は多いと思う。</p> <p>〔委 員〕 今回は、市長のみでも良いと思う。</p> <p>〔会 長〕 それでは、平成 3 年度の 82 万円に戻すということでしょうか。</p> <p>厳しい財政状況ということはきちんと記入してもらいたい。議員は、議会改革も含めて、きちんと進めて</p>
--	--

	<p>もらう前提で進めてもらいたい。答申にはきちんと明記するという事にします。</p> <p>〔会 長〕 3 役は、市長が 82 万円。それ以外はそのままでよろしいでしょうか。異論がある方は挙手をしてください。 -----異議なし-----</p> <p>〔事務局〕 答申案を作成していくので確認をさせてください。市長は、82 万円。副市長と教育長は据え置き。議長は、42 万円。副議長が 37 万円。議員は 35 万円。付帯事項として厳しい財政状況の中だが、しっかりやってもらいたい。議会に対しても、情報発信など改革をしてもらいたい。また、定期的な審議会の開催を行うよう明記する。この内容で案を作成し、第 3 回で議論したいと思う。</p> <p>〔会 長〕 皆さんよろしいでしょうか。</p> <p>〔事務局〕 次回は 11 月 29 日 14 時からとなります。</p> <p>〔会 長〕 以上で第 2 回の特別職報酬等審議会を終了いたします。ありがとうございました。</p> <p>以上、会議終了 閉 会</p>
<p>会議資料</p>	<p>第 1 回大田市特別職報酬等審議会 議事録 資料No.7 基金の状況 資料No.8 市長等給料 類似団体比較表 資料No.9 国家公務員・大田市職員の給料等の変遷 資料No.10 特別職報酬等の推移 資料No.11 平成 18 年大田市特別職報酬等審議会答申</p>